

地方独立行政法人泉佐野市行政事務サービスセンター
令和7年度 第2回理事会 会議録

□日 時：令和7年10月3日（金）15：30～16：30

□場 所：法人事務所

□出席者：岡本 祐一 理事長（議長）、具志堅 政仁 副理事長、
坂口 佳央 理事、丹治 弘 理事、丹治 正美 理事（以上5名中5名出席）
西村 拓憲 監事、矢野 公大 監事

□次 第：

◆理事会

1. 報告案件
2. 事務連絡

◆理事会

1. 報告案件

【報告第2号】令和6年度（第3期事業年度）財務諸表等及び業務実績に係る評価委員会の意見書等について：窓口業務課長より説明

【報告第3号】各課窓口業務の運営体制及び運営状況等について：窓口業務課長より説明

【報告第4号】人事評価制度の導入について：総務管理課長より説明

【報告第5号】最低賃金改定に伴う一般職給料表の改定について：総務管理課長より説明

【報告第6号】育児・介護休業等細則の改正について：総務管理課長より説明

（意見・質問等）

【報告第2号】について

・丹治 弘 理事

市の評価委員会のメンバー構成は？

・副理事長

大学の教授、元・町会連合会会長、税理士、市職員のOB 2名の計5人。

・丹治 弘 理事

処理時間の短縮について、評価委員会で議論があったか？目標時間を達成したら更に時間短縮を目指す。その時間を達成できなければ評価を下げるという評価手法では、目標の到達点が見えない。今の評価手法には疑問がある。目標を達成できなかったとしても、特殊な理由等があれば評価を下げる必要はないと考える。評価手法や目標について、市の評価委員会で議論してもらう必要があると考える。

- ・ 理事長

市の評価委員会には活動指標の考え方について、法人の考えを提案している。今後も議論が深まるように努めて参りたい。

- ・ 西村 拓憲 監事

市民満足度の向上は、処理時間の短縮だけではないと考える。トータルで満足度が向上していれば良いのであって、満足度調査を実施し、その結果を評価基準にする方が法人には合っているのでは？

- ・ 窓口業務課長

市民アンケート調査は毎年、実施しており、8割程度の方に概ね満足していただいているという結果がでている。

- ・ 西村 拓憲 監事

処理時間だけでなく、接遇などを含めた総合的な満足度を考慮して評価してもらいたい。

- ・ 丹治 正美 理事

評価の基準を満足度に替えてもらってはどうか？

- ・ 理事長

処理時間などの活動指標だけでなく満足度などの成果指標も評価の基準に盛り込んでもらえるよう働きかけをしてまいりたい。

【報告第3号】について

- ・ 丹治 弘 理事

障害者雇用の現状は？

- ・ 総務管理課長

職員2名を採用し、基準をクリアしている（3人/74人=4.05%）。

- ・ 丹治 弘 理事

罰則はあるのか？

- ・ 総務管理課長

基準をクリアしていない場合、公的な法人のため、まったなしで事業所名が公表される。これが罰則に当たるものです。

【報告第4号】について

- ・ 西村 拓憲 監事

自己評価と1次評価・2次評価の結果に不満が出て、退職するような職員が出てこないか心配されるが？

- ・ 総務管理課長

評価に不満がある場合、対象者から面談を申し入れることができるような制度設計になっている。また、自己評価と1次・2次評価に大きな差があるような場合、面談をしっかりと行い、評価の結果について説明し、理解を求めたいと考えている。

- ・ 西村 拓憲 監事

評価基準を明確に設けているのか。評価基準を明確に設ける必要性を強く感じる。

- ・総務管理課長
各課に具体的な評価基準を示すことは困難と考えている。主査の判断に委ねることになる。
- ・西村 拓憲 監事
基準がはっきり示されないと、評価に乖離が生じることが懸念される。日ごろからのコミュニケーションが重要になると思われる。
- ・総務管理課長
1次評価を行う主査が期首面談を行い、評価の方針を示し、評価をする形で対応したい。
- ・西村 拓憲 監事
期首面談をして評価方針を示すのであれば、自己評価をさせる意味がないように思われるが、何故、自己評価をさせるのか？自己評価のさせ方に工夫がいるのでは？
- ・理事長
人事評価をすることにより係内のコミュニケーションを図りたい。また、自己評価をさせることで、一方通行でなく、対象者が自分の能力・実績をどのように評価しているのか確認できるメリットがあると考ええる。
- ・坂口 佳央 理事
各評価結果に一定の割合を持たせるのか？
- ・総務管理課長
割合を決めると相対評価を行うことになる。
- ・西村 拓憲 監事
予算が決まっている以上、相対評価にならざるを得ないのでは？人事評価がモチベーションの低下や退職に繋がるようなことのないような運用をしてもらいたい。
- ・坂口 佳央 理事
昇給や昇格に対応できる予算はあるのか？
- ・総務管理課長
すぐに昇給や昇格に反映させるのは難しいと考えている。まずは人事評価制度を馴染ませ、昇給や昇格の参考資料として活用することになる。市のようにボーナスに少しは反映したい。
- ・西村 拓憲 監事
表彰するとかも検討してもらいたい。モチベーションが上がると思う。
- ・理事長
情意評価・能力評価・成果評価を行う一般的な人事評価制度を導入している。また、成果についても自己申告できるようにして客観的な評価を目指している。今後、研修・啓発を進め、予算にも反映できるようになるまで研修・啓発を進めてまいりたい。
- ・窓口管理課長
今年度は主査級を対象に実施し、人事評価制度の導入により働きやすい職場環境（雰囲気）を作るという共通の課題も提示した。本格実施に向け、1次評価をすることになる主査級を評価し、評価された結果等について面談を通して確認し、人事評価制度の充実を図ってまいりたい。

【報告第5号】について

- ・各理事・監事より意見・質問など特になし。

【報告第6号】

- ・各理事・監事より意見・質問など特になし。

2. 事務連絡

- ・副理事長から、以下の連絡があった。
 - ① 今後の理事会の予定について
 - ② 今後の監事監査の予定について